



北海道知事 鈴木 直道 様
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 北海道庁
FAX: 011-251-3879

抗議文

私たち全国ユニオン北海道地方連合会は、平和確立と軍縮推進を求める北海道民の意思を無視する全ての行為に強く反対します。

防衛省は9月5日、同月11日から15日間、北海道内の6ヶ所を含む全国各地の自衛隊施設で「日米合同訓練（レゾリュートドラゴン）」の強行実施を発表しました。陸上自衛隊と米海兵隊から約4,850人が参加する軍事演習には沖縄米海兵隊オスプレイの訓練が組み込むこまれています。

北方領土が隣接する北海道において、上陸強襲を任務とする米海兵隊を含む四千人を超える日米両部隊が参加する日米共同訓練は、隣国ロシア及び近隣東アジアを刺激するばかりでなく、北方4島を含む「領土問題の解決」という私たちの悲願を大きく後退させます。

また、オスプレイは開発段階から墜落事故を繰り返しており、現在に至っても事故原因が解明されていません。ひとたび墜落事故が起きれば道民の生命と財産が奪われるのは明らかなです。加えて、昼夜を問わず日常的に日本の航空法が禁止する低空飛行を行うオスプレイの騒音は道民生活の大きな被害をもたらしています。

防衛省はこれら「脅威」と「生活不安」に真摯に対応すべきところ、「米国機密」を優先し、円滑な訓練遂行のためには国民が認容すべき、との如く地域住民の不安解消に応えようとしません。このような軍事訓練は断じて認められません。

全国ユニオン北海道地方連合会は、北海道の平和と軍縮、そして、北方領土問題の解決を強く願う立場から、日米共同訓練の規模縮小を求めるとともに、墜落事故を繰り返し騒音や環境破壊につながるオスプレイの参加に強く反対します。

貴職におかれましては、道民の安全と北海道を守る立場から、日米共同訓練及びオスプレイ飛来に反対し、中止するよう国に求めることを強く要請します。

以上

2025年9月1日

全国ユニオン北海道地方連合会
執行委員長 小林 幸一

